

平成 31 年度

事業報告



社会福祉法人

あじさいの家

平成 31 年度事業報告 目次

目次

1、あじさいの家 基本理念	1	◎行事	9
1) 目的	1	◎交流	9
2) 運営方針	1	◎実習	9
3) 重点項目	1	◎安全・防災	9
2、日課	1	◎医務・健康	10
3、運営組織図及び担当	2	◎研修	10
4、利用者及び職員状況一覧	3. 4	【生活介護】	
5、年間行事報告一覧	5. 6	◎活動	10
6、業務報告及び活動報告	7	○ミーティング	11
◎運営	7	○創	11
◎職員会議	7	○楽	11
〈総務部〉	7	○動	11
◎広報	7	○人形劇	11
◎施設管理	7	○個別外出	12
◎防災管理	8	【日中一時】	12
◎車両管理	8	【短期入所】	12
〈支援部〉		〈事務部〉	
◎ケース会議	8	◎庶務	12
◎支援計画	8	◎経理	12
◎摂食	8	☆全体を通して	13

1、あじさいの家 基本理念

1)目的

障がいの程度にかかわらず、一人ひとりが日々充実して過ごし、生活の幅を広げながら地域生活を送ることができるよう支援することを目的とする。

2)運営方針

- ・日常生活において、生きがいを持って豊かに暮らすことができるように支援する。
- ・安全で健康的な生活を送ることができるよう支援する。
- ・一人ひとりの持つ力が発揮できるよう支援する。

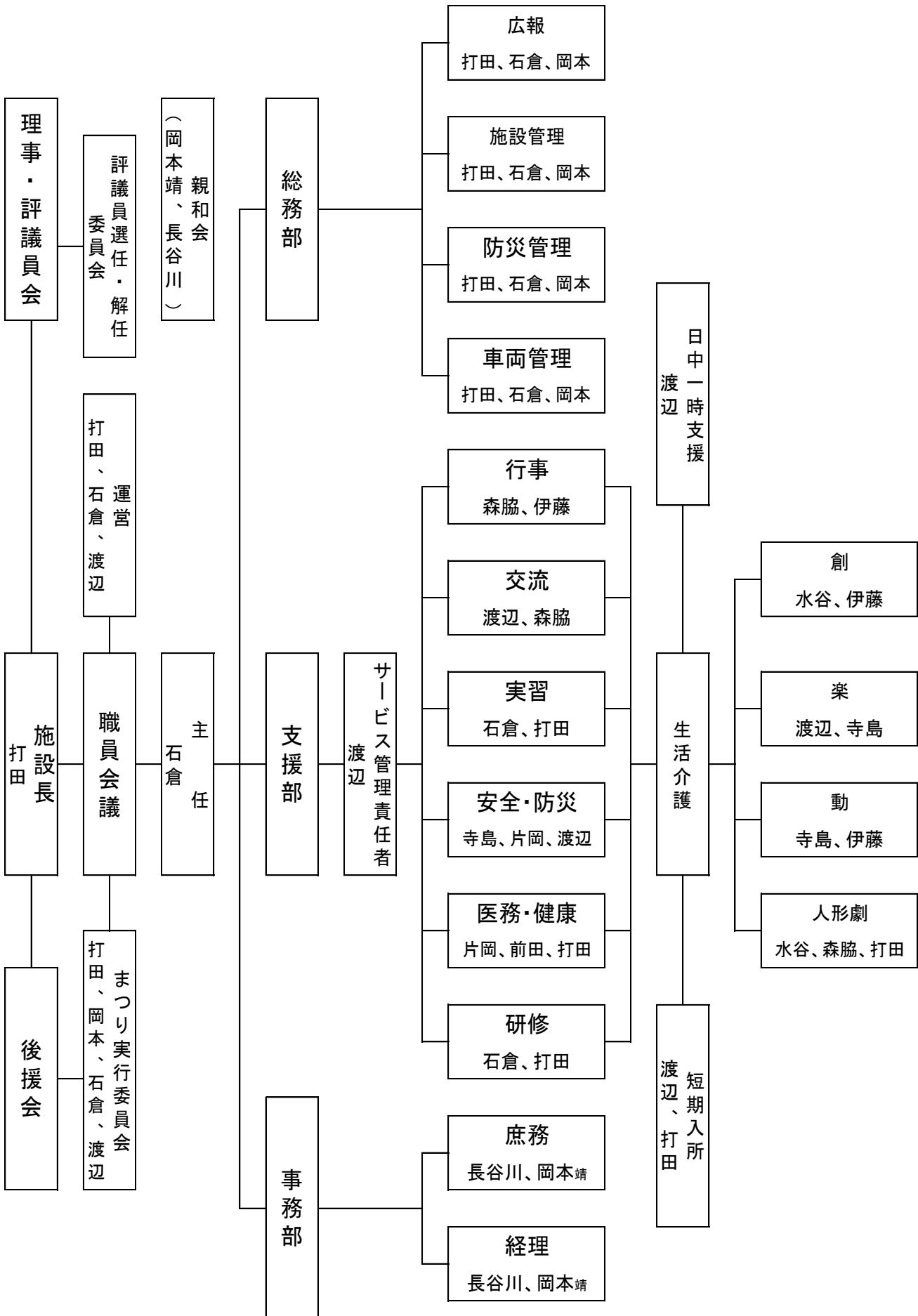
3)重点項目

- ・一人ひとりの個性を尊重し、自己表現できる場や機会を設定する。
- ・一人ひとりの障がいの特性を的確に把握し、体調の変化には絶えず留意する。
- ・地域とのかかわりを大切にし、社会資源を有効に使ったり、地域に積極的に出かけて行ったり、いろいろな体験をすることで生活の幅を広げる。
- ・居宅生活が安心して送れるよう支援する。

2、日課

8:30 職員打ち合わせ	14:00 午後の活動
8:40 送迎及び準備	15:15 片付け 帰宅準備
9:30 活動準備	15:45 帰りの会
10:00 朝の会	16:00 帰宅(送迎)
10:30 午前の活動	16:00 記録(清掃)
11:40 昼食準備	16:30 会議(活動準備)
12:00 昼食 休憩	17:30 帰宅

3、運営組織図及び担当



4、利用者及び職員概況一覧

1、利用者の状況

(1) 通所状況

利用者定員 20名

利用者実数 19名

(2) 入退所状況

平成31年度 新規利用者 男性 0名 女性 0名

平成31年度末 退所者 男性 0名 女性 0名

(3) 曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	1日平均	昨年度
男	11	11	11	13	13	11.8	11.4
女	3	2	2	4	2	2.6	2.6
計	14	13	13	17	15	14.4	14

(4) 通所市町

市町	いなべ市	東員町	桑名市	四日市市	菰野町	計
男	8	3	3	0	1	15
女	2	0	0	2	0	4
計	10	3	3	2	1	19

(5) 年齢別在所者数

年齢	18～19	20～29	30～39	40～49	50～	計	平均年齢
男	0	6	5	2	2	15	35.7歳
女	0	0	3	1	0	4	38.8歳
計	0	6	8	3	2	19	36.3歳

(6) 施設在所者数

平均在席年数 11.5年

在籍年数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	計
男	0	0	0	2	6	7	15
女	0	0	0	1	1	2	4
計	0	0	0	3	7	9	19

(7) 障害手帳保有状況

	1種		2種	計
	1級	2級		
男	12	3	0	15
女	4	0	0	4
計	16	3	0	19

(8) 障害程度(療育手帳判定による)

	A 最重度	A 重度	A1	A2	計
男	6	4	1	2	13
女	1	2	0	0	3
計	7	6	1	2	16

(9) 障害支援区分

	区分1～4	区分 5	区分 6
男	0	0	15
女	0	0	4
計	0	0	19

(10) 日常生活状況

・移動 ※ 自力歩行、自助具を使用される方は、車椅子も併用している。

	自力歩行	車椅子使用	補助具移動	半介助	全介助
男	1	15	1	2	13
女	0	4	0	0	4
計	1	19	1	2	17

・排泄

	自立	見守り	全介助
男	0	2	13
女	0	0	4
計	0	2	17

・ 食事

	自立	見守り	半介助	全介助
男	0	2	1	12
女	0	0	3	1
計	0	2	4	13

・ 食事形態 ※ 口からの摂取と経管栄養の併用有り

	普通食(一口)	刻み	ペースト(重複)	経管(胃瘻)	経管(鼻腔)
男	3	0	12(5)	4	1
女	3	0	1(1)	1	0
計	6	0	13(6)	5	1

・ 医療的ケア状況

	口腔内吸引	気・切吸引	胃瘻	鼻腔	導尿	導尿留置
男	6	0	4	1	2	2
女	1	0	1	0	1	0
計	7	0	5	1	3	2

(11)各事業別利用状況

生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
いなべ市	152	164	138	163	146	146	154	158	150	136	135	158	1800
東員町	62	63	57	61	57	55	66	64	55	57	58	60	715
桑名市	38	50	42	43	39	41	48	47	42	37	43	43	513
菰野町	8	10	6	8	6	6	9	6	8	7	6	8	88
四日市市	10	14	10	10	10	9	15	10	9	8	9	10	124
合計	270	301	253	285	258	257	292	285	264	245	251	279	3240

日中一時

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
いなべ市	14	7	13	15	13	7	11	8	11	13	11	16	139
東員町	2	3	4	4	2	4	7	4	4	3	2	3	42
桑名市	5	3	3	5	3	2	2	3	3	2	3	1	35
菰野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四日市市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	21	13	20	24	18	13	20	15	18	18	16	20	216

短期入所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
いなべ市	0	0	0	1	4	3	0	0	1	0	0	0	9
東員町	0	0	0	1	1	1	0	1	0	2	0	0	6
桑名市	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	4
菰野町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
四日市市	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
合計	0	0	0	2	6	6	3	1	2	2	0	0	22

2. 職員の状況

(1) 就退職状況

平成31年度新規採用者 男性 1名 女性 0名
 平成31年度内退職者 男性 0名 女性 1名

(2) 職員状況

職名	正規職員		パート職員		業務委託職員		計
	男	女	男	女	男	女	
施設長	1						1
サビ・管		1					1
支援員	1	5	2	8			16
看護師		1		1			2
事務員				2			2
調理員				2			2
運転士			1		1		2
計	2	7	3	13	1	0	26

※支援員の常勤換算人数 10.1人

5、年間行事報告一覧

	法人関係	施設運営関係	行 事	交 流
4月	辞令交付(1)	職員会議(16)	なばなの里 イルミネーション見学(26)	マスの放流(3)
5月	あじさいの家総会(18) 第2,3回まつり実行委員会 (2、18) 法人監査(30)	職員会議(14) ケース会議(14) あじさいの家まつり(26)		元気楽校(渡部貞朗先生)(7)
6月	法人理事会(6) 評議員会(21)	安全点検(20) 職員会議(18)	誕生会(14)	きらら学園小学部 1グループ(26)
7月		安全点検(11) 職員会議(23) ケース会議(23)	七夕会(4) 誕生会(19)	松尾貴臣さんコンサート(30)
8月		安全点検(16) 職員会議(21) ケース会議(21)	誕生会(27)	山郷保育園盆踊り(8) 響コンサート(22) ジュニアアンサンブル(23)
9月		安全点検(25) 職員会議(17) ケース会議(17)		
10月	法人理事会(24)	安全点検(10) 職員会議(22) ケース会議(22) 避難訓練(23) こねくと参加(30)	誕生会(30)	きらら学園小学部 1グループ(1) いなべ市市民感謝祭(19)
11月	評議員会(5) 第4回まつり実行委員会(30)	安全点検(7) 職員会議(11) 消防立入検査(18) あじさいの家餅つき(30)		いなべ市障害者 スポーツ交流会(2)
12月		安全点検(12) 職員会議(13) ケース会議(13)	誕生会(4) クリスマス会(25) お楽しみ会(25)	いなべ市民 人権フェスティバル(8) 音楽コンサート(26)
1月		安全点検(16) 職員会議(21) ケース会議(21)	誕生会(23)	
2月		安全点検(6) 職員会議(18) ケース会議(18)	節分(3) 初詣(7) 誕生会(27)	地域交流会(23)
3月	法人理事会(17) 評議員会(31)	避難訓練(9) 安全点検(12) 職員会議(17.31) ケース会議(17)	W成人式(25)	

	実習	医務・健康	研修	人形劇
4月		体重測定(15～)		
5月	員弁中職場体験(15～17) ユマニテク実習(29～31)	体重測定(13～)		
6月		体重測定(10～)		フレンテ祭り(2) あじさいの家にて (きらら学園交流)(26)
7月	大谷大学生実習(1～5)	体重測定(8～) 安藤医師健康診断(8)	きらら学園研修会(22) 静的弛緩誘導法研修(30)	
8月	皇學館大学生実習(5～9)	体重測定(5～)	飯田人形劇 フェスティバル(3.4) 古川PT訓練研修会(6) 多田T訓練研修会(20) 静的弛緩誘導法研修(16.28)	eケアネット パパママミーティング(25)
9月		体重測定(9～)	いたみフォーラム(14)	
10月	いなべ市新人職員研修 (1～2)(3～4) ユマニテク実習(9～25) 京都府立大学生実習 (15～19)	体重測定(7～) 健康診断 (11.16.18.23.25.30)		あじさいの家にて (きらら学園交流)(1) あがた保育園(29)
11月	活動支援センターより 施設間職員研修(5～7)(27～29) 北勢中職場体験実習(11～13) 龍谷大学生実習(26～30)	体重測定(11～) インフルエンザ予防注射(14)	古川PT訓練研修会(5) 保護者会施設見学 伊丹市しえあーど(8)	桑名ひまわり学童(17) 下野中央保育園(19) オハナ(23)
12月	なでしこより 施設間職員研修(4)(11) 東員あーちより 施設間職員研修(24.25)	体重測定(9～)	施設間職員研修東員あーち (水谷2～4)(森脇16～18) 多田T訓練研修(23)	
1月		体重測定(14～)		
2月		体重測定(10～)		地域交流会(大安イオン) (23) エンゼル幼稚園(26)
3月		体重測定(9～)		

6、業務報告及び活動報告

◎運営

活動や行事、日常の支援に関する内容について、円滑に進められるように、管理や調整を行ってきた。緊急を要する事案については、短時間でも話し合いの機会を持ち、迅速に対応できるように配慮してきた。

また、なかまが安定した生活を送ることが出来るように一人ひとりの状況を把握し、職員同士の共通理解が図れるように進めてきた。

今後も支援が円滑に行えるように管理調整に努め、緊急時についても迅速に対応できるように、日常的に職員間の意見交換がスムーズに行われ、協力体制がとれるように環境を整えておく。

◎職員会議

今年度も保護者の協力のもと、月1回の早帰りの時間をとり、職員会議を定期的に行うことが出来た。

行事や予定の確認、施設運営全体の話し合いの場となった。ただ、なかまの利用日等の関係上、開催曜日に偏りがあり、パート職員の参加が少ないことが問題点である。不参加の場合は、議事録にて内容を確認することとしたが、徹底できなかった。

来年度も定期的な開催、必要に応じて随時会議を持ち、職員間の共通理解を図り、施設運営が円滑に行われるように実施していきたい。

〈総務部〉

◎広報

今年度も広報「あじさい」の発行や掲示板の作成を行った。広報「あじさい」では活動の内容や行事等の案内、法人の決算書や事業報告、事業計画、法人や施設の運営状況も掲載した。施設内では「かわらばん」も数回発行した。

屋内掲示板では季節ごとに写真を中心に活動の様子を貼り、屋外掲示板には定期的に時節の挨拶やイベントの紹介、四季を感じるなかまとの手作り作品を掲示した。季節の童謡を記載することで、掲示板に目を留めてくださる方々に、楽しんでもらえたのではないかなと思う。

数年前から計画しているホームページは、一部開設されたが完全ではないため、早急に完成させたい。

◎施設管理

月1回の安全点検は、施設管理を行う上で基本的なものとなるので、今年度も定期的実施した。また短期入所事業に合わせ、スプリンクラーの管理も必要となり、安全点検の項目に追加した。

今年度は事業計画にもあげた、旧あじさいの家の建屋及び敷地の管理であるが、親の会の全面協力により倉庫の中まで大々的に整理していただいた。今後も定期的に管理していくことが大切である。

◎防災管理

今年度も火災報知機の年2回の法定点検(業者委託)と、避難訓練を2回実施した。11月18日には消防署の立入り検査があり、短期入所の和室のカーテンと絨毯が防災生地でないため、撤去もしくは交換を指摘された。また、消火器の表示基準が変わったので、期限がきて交換する場合は新基準に準じた消火器を設置するようにアドバイスを受けた。

◎車両管理

今年度も事故無く安全に車両を運行できた。しかし、使用年数が経過し走行距離距離が長くなってきた車両の故障が時々あり、送迎の運行に支障が出たこともあった。日ごろのメンテナンスが大切であるが、運転に携わる職員一人ひとりが車両に注意し、少しでも異常を感じたら修理を依頼するなど、速やかにしかるべき対処をしていくことが大切である。

〈支援部〉

◎ケース会議

今年度も、月に一度のペースで、職員会議終了後ケース会議の時間を設け、なかま一人ひとりの様子や、体調の変化等の情報交換を行った。なかまへの関わり方や問題点等を話し合う事で、支援の方向性の統一を図った。

早急を要する対応には、迅速に職員の共通理解に努めた。加齢とともに、いろいろな変化が現れると思われ、今後も本人にあった支援がしっかりと出来るように、共通理解の大切な時間として、確保していきたい。

◎支援計画

なかまの環境、体調の変化を把握しつつ、懇談会等を参考に、なかまだけでなく保護者のニーズも踏まえて計画を立てた。また、職員がなかま全員の支援計画を把握する為に、意見交換できる場を設けた。

今年度は、拘束に関する同意書は全員確認、承諾を得ることが出来た。

今後も、本人にあった支援計画が立てれるように、日頃からのコミュニケーションやなかまをしっかりと多方面から見つめることが大事だと改めて感じた。

◎摂食

食事の時間は、なかまと介助する職員が、ゆっくりコミュニケーションがとれる大事な時間となっている。しかし、加齢と共に食事中にむせが出てきたり、痰による咳などで嚥下が難しくなり、摂取困難になるなかまもみられた。そのため、一人ひとりに応じた摂食が出来るように、なかまの特徴やその日の体調をしっかりと把握し、食事量の調整や食事中のポジションを考え、無理をせず安全かつ事故の無いように対応した。

経口摂取が困難な場合は、なかまにとって食事をするのが負担にならないように経管栄養に切りかえるなどの対応で食事摂取を維持できるようにした。

今後も、なかまの体調の変化などを把握し、事故に気をつけ安全で楽しい時間になるよう取り組んでいきたい。

◎行事

・誕生会 ・お花見 ・七夕会 ・クリスマス会 ・書初め ・初詣 ・節分会など

なかま一人ひとりが主役になれる誕生会を行った。今年度は、プレゼントのテーマを「花」とし、各誕生月の季節の花をモチーフに、趣向を凝らしたプレゼントでお祝いした。午前中は誕生者の紹介やゲームを楽しみ、午後は音楽を聴きながらケーキを食べ、ゆったりとした時間の中で楽しく過ごす事ができた。

また、季節に合ったイベントを通して四季の移り変わりを実感し、豊かな表情が見られ、充実した日々を過ごすことができた。

今後も体調に留意しながら無理をせず、なかまが生き生きと過ごし、個性を発揮できるような行事を計画して行きたい。

◎交流

・マスの放流 ・フレンテ祭り ・あじさいの家まつり ・オペラコンサート ・松尾孝臣さんコンサート ・ハーモニカ演奏 ・ジュニアアンサンブル ・きらら小学部訪問 ・市民感謝祭・山郷保育園園児訪問 ・地域交流会・いなべ市障がい者スポーツ交流会など

様々な方との出会いを通じてなかまが地域と関わり社会参加できるよう、今年度も積極的に交流の場を持った。

他の場所に出かける事も多く、事前の準備や移動等特別な配慮、家族の協力が必要となったが、なかまがいつもと違った環境でも対応できるという自信を持ち、たくさんの人に声を掛けてもらうことで活動への意欲を持つことができた。

継続して積み重ねてきた関わりの中で、地域の方々の温かみに触れ、なかまも職員も励みになった。

今後もなかまの体調に配慮し、笑顔あふれる時間となるよう活動の場を広げていく。

◎実習

今年度も依頼のあった実習生、体験者を受け入れることが出来た。色々な立場、目的は違っていても多くのことに気づき、感じる事が出来た。

今年度は施設間の体験交流が実施され、本施設にも他事業所から数名体験にみえたり、本施設からも他施設に体験に行かせてもらった。同じ支援者ということもあり、なかまに対する接し方など、参考になることも多く、充実した機会となった。

3月に予定されていた他施設からの実習、小学生の施設体験がコロナウィルスの影響で中止になったことが残念だった。

来年度も積極的に受け入れ、お互いに意義のあるものとしたい。

◎安全・防災

今年度より短期入所事業開始にあたり「短期入所アクシデント対応マニュアル」を作成し、緊急時に備えて職員間で確認した。

また、月1度の安全点検と年2回の避難訓練を10月と3月に実施した。1回目は食堂にて午

後の活動中に地震に続き、火災が起きたと想定して行い、岡山で起きた豪雨災害の資料を元に『何が生死を分けたのか』を題材とし振り返った。2回目は東日本大震災の実際の室内の様子を映像で見る事によって改めて訓練の必要性を感じた。今後も課題になったことを具体化し、月1度の安全点検と年2回の避難訓練を引き続き実施していく。

◎医務・健康

なかまの健康管理を中心に努めた。保護者からの情報をもとに、なかまの健康状態を職員間で確認、把握し共通認識を持つことで体調を配慮し、無理のない支援ができるよう対応した。

また例年通りの嘱託医による健康診察、インフルエンザの予防注射、医療機関での健康診断も実施できた。

健康診断では、なかまたちの特性から、年一回なかまの健康を維持、把握するために行っている。毎月の体重測定では、特に気になるケースに対して、保護者や職員に声をかけ食事などの配慮を行なった。

一年を通して日々の生活の中では、発熱や体調不良による欠席はあったが、皆元気に登所できた。今年はインフルエンザの感染者が無かったことも幸いであったが、他の感染の恐れがある場合に関しても、細心の注意を施設内で十分に強化する必要を感じた。

医療的ケアに関しては、職員が声をかけあい確認することで、安全で事故もなく実施できて良かった。

今後も、毎日の活動が楽しく過ごせるよう、なかまの状態に応じて適切な対応に心がけていきたい。

◎研修

今年度も訓練に関し、外部の講師に来ていただくことが出来た。「子ども心身発達医療センター」の古川先生を含め理学療法士2名、理学療法士多田先生、支援学校の奥山先生に訓練研修を行ってもらった。

古川先生の訓練は、個々に合った内容であるため、後日ビデオを参考に職員全員でフィードバックする機会を持った。多田先生と奥山先生には、なかまに共通して行える内容を実践してもらった。どちらの内容も大切であり、なかまの体の変化を把握しつつ、日々の健康維持に繋げることができている。

職員研修として、員弁郡市障がい者支援事業所連絡協議会合同研修会が延期になった。他施設職員との意見交換や交流の機会であったため残念である。

今後もなかま一人ひとりが心身ともに健康で過ごすことができるよう、外部の研修会にも積極的に参加し、職員のスキルアップを目指して行きたい。

【生活介護】

◎活動

今年度は活動内容を「創」「楽」「動」と3つに分け、それぞれの観点から枠にとらわれることなく柔軟性を持ち、なかまが主体となる活動に取り組むことを大切にしてきた。3つの活動の考案は難しく不明瞭なところもみられたが有意義な時間を持つことができた。

来年度もあじさいの家の基本理念に基づき、なかまの体調に配慮しつつ充実した活動となるよう取り組んでいく。

○ミーティング

今年度も週の初めに一週間の予定や様々な連絡事項を確認することで、毎日の生活に見通しが立ち、関心、意欲を持って活動や行事に参加することができた。また、なかまの様子や興味のある出来事など意見を交わすことで互いの様子を知り、コミュニケーションを深める貴重な時間となった。

今後も和やかな雰囲気の中、互いに共有できる大切な時間として活用していきたい。

○創

クッキーや試行錯誤しながら作ったバスボムをなかまが売り子となり、あじさいの家まつりで販売できた事は、なかま達にも良い体験となった。

クッキーを作るきっかけとなった『なかま達の社会参加』を念頭におき、目的をもう一度見直し、今年度は配達回数を減らし、ゆったりとしたペースで作業に取り組んだ。

また創作活動として歌に合わせて作ったペープサートは、交流会時にも使用し一層その場を盛り上げるものとなった。しかし、クッキーの活動が中心となり『創る』内容が少なかったのが反省点である。

来年度もなかまの体調面など色々な面に配慮し、楽しく達成感を味わえる活動としたい。

○楽

今年度なかま一人ひとりが、楽しめる時間として、幅広い活動の内容とし、時期や体調を考慮しながら、音楽 外出(買い物ツアー・ドライブ) 物作り お茶会等、静 躍 動を取り入れた活動に取り組んできた。個々のリクエストも参考にし、それぞれの形で楽しめることや、リラックスできる時間を持つことは改めて大切であり、必要なことと感じた。

今後もいろいろな形をみんなで一緒に考え「楽」の活動として充実した時間としていきたい。

○動

散歩、スヌーズレン、サイコロゲーム、エアートランポリン、ボールプール、ハンモック、段ボール崩し、パンくい競争、足湯、訓練など

今年度から身体と訓練を合わせて「動」とした。

身体を大きく動かす内容や季節を感じる散歩では色々な刺激を受け普段とは違う表情も見ることが出来た。訓練は外部の先生の指導もあり、車椅子に座ったままで行える内容や、食後でも行える内容も取り入れることが出来た。また内容についてはビデオでフィードバックの時間も取った。

来年度は活動内容に広がりをもち、なかまが元気に楽しめるように取り組んでいきたい。

○人形劇

今年度は、初となる桑名のひまわり学童保育、四日市エンゼル幼稚園の公演と地域交流

会を含め、10回の人形劇公演を行った。地域交流会では、一人でも多くの方に知ってもらえるよう、ポスターを作り地域の保育園などの宣伝活動も行った。

また飯田人形劇フェスタ参加に向けて機材やグッズの見直しにも取り組み始めた。

来年度も、なかまの社会参加を目的に、人形劇を通して地域との関わりを大切にしたい公演活動を行っていききたい。

○個別外出

個別外出はなかまの楽しみの一つになっている。早くからどこへ行って何をしたいか明確にし実施できたなかまもいたが、日程調整が難しかったり、目的が何度も変わってしまい実施できなかったなかまもいた。来年度はまず目的を明確にし計画的に進めていききたい。

【日中一時】

今年度も、入浴サービスを中心に週二回(月・水)を基本に行ってきた。

定期的に利用しているなかまは全員ではないが、家庭の状況により必要に応じて、その都度、臨機応変に相談、対応してきた。来年度も引き続き緊急時には、休日、活動時間外であっても迅速に対応出来るようにしていく。

今後は登録利用者の増加を想定し、職員体制の安定を十分に図っていく必要があると感じた。

【短期入所】

今年度より夜間の緊急対応として、短期入所を開始した。初めてのころみということもあり、なかまの様子、職員の対応等を確認するため一人一回入所体験も行った。これまで宿泊体験を行ってきたこともあり、全員がスムーズに利用できた。

原則緊急時の利用ということもあり、今年度は数回の利用となった。

気になる点として宿泊の翌日、活動時の職員数減等を考えると、躊躇なく利用することが出来なかったこともあるかと思われた。

今後も、なかまとその家族の不安解消の場となるよう、職員体制を整え、より安心して利用出来る場としていく必要がある。

〈事務部〉

◎庶務

施設内の文書管理及び備品、消耗品等の管理を行った。昨年度の反省でもあげられていたが、内容が漠然としており業務内容も多いので、業務内容の確認は難しかった。

◎経理

施設会計及び法人本部会計等、すべての会計管理を行った。会計事務所の専門的なバックアップにより確実な会計管理を行うことができた。

介護支援費の請求業務であるが、返戻等があった場合、国保連から明細が出ないので、収支の内容を確認するのに時間がかかってしまった。請求業務の委託先への連絡を迅速かつ密にしていく必要を感じた。

☆全体を通して

今年度も新規利用のなかまはなく、今後しばらくは新規の利用はないものと思われる。利用しているなかまにおいては、幸いにも大きな病気などでの入院もなく、ほぼ安定した利用となった。

職員の体制はパート職員1名が夏に退職したが、その後新たにパート職員1名の採用があった。9月には正規職員1名が病気休暇となった。今年度も休業日の行事等で開所した場合は振替休日を設定しなかったが、職員は個々に振替休日を取ることで対応したため、開所した日から数日は職員数が減の状態となることがあった。さらに、短期入所事業を開始した関係で、職員が泊まり明けの日には同じく職員数が減となった。活動に大きな支障が出ることはなかったが、今後の事業を展開していくうえでも、新規職員の採用も行っていくことは必要であると思われる。

生活介護事業においては、いろいろな活動を通して、経験や体験を行い、生活の幅を広げるという面では概ねできたと思われる。しかし、事前の計画が十分でないため予定の空欄が目立つことがあった。なかま一人ひとりが、自分の取り組みやすいスタイルで活動できるように配慮し、なかまの動きが固定化されないように注意していくことが大切である。

日中一時支援事業においては、引き続き月、水曜日の生活介護事業終了後に入浴を目的とした利用と、休日の利用や利用時間の延長が必要な場合に対応した。なかまとその家族にも、日中一時支援事業の利用は定着してきているように見受けられる。

以前より家族からの要望があった短期入所事業に関しては、今年度より実施に至った。契約されたなかまは、まず体験という形で1～2名で宿泊した。職員も体制の確認ということで2～3人に対応した。体験だけでなく実際に緊急の利用もあり、迅速に対応できたことは家族にとって安心の一つとなったと思われる。今後もなかまとその家族がこの地域で安心して暮らせるよう、引き続きみんなで取り組んでいきたい。

平成 31 年度

